

議長（前原英石君） 1番 森 弘秋君。

1番（森 弘秋君） 舟橋駅前整備について質問いたします。

新聞のコラムに、東京オリンピックが決定したのに例え、日本の国の今までの暗雲が全て払拭するとは限らないが、「行方が定まらない『漂流』から、目的地がはっきりした『航海』へ。古いも若きも世代を超えて、未来を信ずる力を取り戻す。これが何より大切だ」とありました。

我が舟橋村も、目的地があったにもかかわらず、なかなかたどり着かなかった。

村道竹内舟橋駅線が、地権者と用地交渉がまとまり、30年越しに村道完成と報道。今議会で工事費等、そして舟橋駅前古墳周辺の諸施設の整備予算が盛り込まれるなど、同時に整備・完成の予定であります。安心・安全面が整備され、さらに快適な生活ができる。まことによいことになると考えられます。

さて、駅周辺地域のインフラ整備が進めば、その中心である駅前のハード面の整備が必要となってきます。そこで、村道の完成に合わせ、舟橋駅前を抜本的に整備すればと思います。

「犬も歩けば棒にあたる」ということわざがありますが、本当にそう思いました。舟橋駅の近くに行ったときに遭遇したのです。

先日、舟橋駅前に行った折、ちょうど時報が鳴り、前の時計塔の時刻を見ると、11時56分でありました。村民をはじめ不特定多数の人が見る。4分間の遅れは、もはや時計の用を果たしてません。

「時刻が遅れるのは常態であって、今に始まったことではない」と聞きました。時計塔の時刻を信じ、余裕を持って電車に乗ろうとホームに行ったが、列車は発車していた。そんなことが何回かあったそうです。

もはや時刻を知らせる時計ではありません。現在は、きょうも見てきましたが、「故障中」と表示してあります。

そこで、今設置してある時計を電波時計に取りかえられないか。そんなに費用もかからないと思います。

また、偶然とは重なるもので、そのとき、駅前の村道の車道のほぼ中央に、堂々といえますか、堂々と軽自動車をとめ、恐らく数十分間とめて用事をしておられるのだろう。運転席を離れておるのだから、駐車だと思います。駅南駐車場を利用すればとよいと思

うが、どうでしたのかね。運転手の心構えも問われるが、いかがなものだろうか。

せっかく「ようこそ舟橋村へ」という歓迎の案内板が設置してあるのに、これは駅前に駐車場がないのも問題と思われまます。考えられることは、駅前にも停車等の施設を設けることであろうと思います。

さて、昭和63年に計画された舟橋村魅力あるまちづくり基本計画及び舟橋村総合計画によれば、ゾーニング整備方針として、舟橋駅ゾーン、人々が交流の場となる駅舎及びその周辺整備、子どもの遊び場や公園、老人いこいの家などのコミュニティ施設を住宅の周りに整備し、良好な住環境をつくる。また、幼児や母親、高齢者に配慮して、手近な遊び場、ミニ公園、ゲートボール場などを設置するという遠大な計画がうたわれております。

インターネットで他県の例を見れば、やはり地域活性化のために、例えば青森県弘南鉄道、茨城県ひたちなか海浜鉄道等、全国でそれぞれに幾つかの駅が整備されてきております。

そんな中で、既に舟橋駅は整備済み、駅南駐車場が整備されております。残るは、今ほど述べましたが、諸施設に加え、短時間の用事をする者等の、駅前ロータリーを含めた駅前広場の整備が急務であると考えます。ロータリーにあわせ、用事を済ませるだけの駐車場を2台から3台程度併設すればよいのではないかと思います。

また、舟橋村の文化施設等が一目でわかる案内板の設置等々、近未来を見据えた中長期的なビジョンの青写真を描き、実施する集大成の時期であると考えます。

村長の提案される舟橋村環境総合整備計画の範疇に、例えば小委員会として舟橋駅前整備計画検討委員会を立ち上げ、検討していただければと考えます。

新幹線が1年半後に開通、走行試験が来年の夏には始まります。また、7年後にオリンピックが東京で開催されることが決まりました。さらに、今話題のリニア中央新幹線の時代です。

積極的に戦略的に、まず駅前から輝きましょう。駅という玄関を整備し、舟橋村は「よかった」と言われたいものです。

駅前ゾーンの整備並びにいこいの広場ゾーンの計画の将来像についても、あわせて、村長の考える村のビジョンを、明快なる答弁をお願いします。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 1番森弘秋議員さんの舟橋駅前の整備についての質問にお答えい

たしたいと思います。

議員さんのほうからいろいろと熱き思いをいただいたわけでありますが、この駅周辺の整備は、昭和63年、今から25年前になるわけでありますが、策定いたしました舟橋村魅力あるまちづくり基本計画でそういった整備を進めてきたわけであります。

この計画でうたっているのは、まず、「駅は村の顔である」。そうしたキャッチフレーズでありまして、駅周辺を村のシンボルゾーンに位置づけする。そしてかつ、地域コミュニティの推進、そしてまた、村民が愛着を持てるまちづくりをする。こういうふうな目的で整備を進めてまいったわけであります。

そういったことでありますので、それぞれに整備課題をつけまして、推進地区を「舟橋駅ゾーン」「いこいの広場ゾーン」「神明社ゾーン」「無量寺ゾーン」「シンボルロード」「導入ポイント」の6つに分類いたしまして、先ほど言いましたような整備を進めてきたわけであります。

これまでの取り組みで具現化したものを申し上げますと、老朽化した舟橋駅及び駐輪場並びに公共トイレの整備、こういったことは、現実に皆さん方、知っておいでになるわけでありますが、それからまた、県道富山上市線には村の案内標識を設置しております。そしてまた、駅南駐車場もつけております。それからまた、図書館もできております。それから、先ほど指摘されました時計塔につきましては、舟橋村の由来をモチーフにした時計塔を設置したわけであります。そして、なおかつ県道富山上市線へのアクセス村道の整備をしまいいりました。そして、舟橋村の絵タイルを歩道にはめ込むなど、こうやってきたわけであります。

しかしながら、ご承知のとおり、駅前のシンボルロードであります竹内舟橋駅線につきましては、地権者の同意が得られなくて、今ようやく、計画が中断しておったわけでありますが、進むことになったわけであります。

そういったことで、11年ぶりという事業になるわけでありますが、いずれにいたしましても、足かけ二十数年の歳月がたっておるということでございます。

今後はこの道路の整備をすることによりまして、交通安全の、もちろん向上にもつながるわけでありますが、神明社ゾーン、あるいはまた無量寺ゾーンの整備に、補正をも含めて、新年度にもそういった事業に着手してまいりたいと、こういうふうに思っております。

そして、先ほどありましたように、天神堂古墳のことでございますけれども、これは

ご存じのとおり、富山県東部で唯一の前方後方墳である。それからまた、無量寺には県指定文化財の阿弥陀如来像が安置されているということでもありますので、村の歴史・文化をたどる散策コースにもなるんじゃないかと、こういうふうに思っておりますので、そういった視点から整備を進めてまいります。

ご質問いただきましたいこの広場ゾーンとか、もっともっと思い切った整備をするべきだということもございますので、今、この計画そのものができてから20年がたっておるわけでもありますので、このたびの議会に提案しております「舟橋村環境総合整備計画」を策定いたしますので、その中で駅周辺の整備をどのように整合を持たせていくのかということも含めて検討してまいりますことをお約束したいと思います。

いずれにいたしましても、富山県は、ことしは置県130年。そしてまた、1年半余りで新幹線が開通する。そしてまた、7年後には東京五輪があるというふうな、いろいろなこういった世界的なイベント等もあります。その中で舟橋村が埋没すると言ったら語弊がありますがけれども、舟橋村から村外に発信できるような、こういったいろんな施策を講じてまいりたいと、こういうふうに思っております。

それにつきましても、議員の皆さん方と十分相談させていただきまして、舟橋らしさの魅力を発掘しながら、そうしたテンポに乗せて情報を発信していくと、こういうことも大切だと思っておりますので、そういったことを皆さん方に申し上げまして、私からの答弁にさせていただきます。

よろしく願いいたします。

議長（前原英石君） 森 弘秋君。

1番（森 弘秋君） 今ほど、村長、答弁ありがとうございました。

私、「中長期的」という言葉と、前進的、進歩的といいますか、積極的といいますかね、「戦略」という言葉をあえて使ったんですが、それから、最後のほうで無理して中央新幹線の話をしたんですが、二、三日前でしたかね、あれ、ひどいんですね。地権者とかいろいろあるんですが、全く関係なく、テレビの報道、今報道しましたけど、ここに何々駅ができるんだ、ここらに何ができるんだと、こういうことをやっておるがですね。要するに、地権者とかいろんな人があるんですが、全く関係なく、線引きといいますかね、というものをやっておると。

戦略というものは、私はそんなもんだらうというふうに思うんです。ですから、先般の上市道路の取りつけの分もありましたけれども、多少の時間がかかるかもしれません

が、待っていてはだめなんで、駅前ゾーンを、時計もさることながら、特にロータリーといえますかね、といったところを中長期的に……。ちょっと村長の答弁の中から、年次計画といえますかね、そういったものは簡単に出ないと思うんですが、そこらあたりまで少し、村長の考え、村長のビジョンとして、例えば何年ごろとか簡単に説明、難しいかもしれませんが、そこらあたりまで答弁願いたいなと思っているんですが、もしもこれについて村長の考えがあれば、ご答弁をお願いしたいと。

以上です。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 森議員さんの再質問といえますか、要望等を含めましたことにつきまして、お答えしたいと思います。

まず初めに、おっしゃったのは、地権者を無視したことで計画は立ててもいいんじゃないかというような、戦略的にですよ、おっしゃった意図はわかります。

ただ、私はそういった、舟橋村は、ご存じのとおり、顔が見える村なんですね。新しく入ってこられた方は、地権者というのはほとんどおいでにならんわけでありますので、そういったいろんな類いが、今までのしがらみといえますか、いろんなことがあったわけでありますので、そういう点はやっぱり十分配慮していかななくてはならないと思っております。

そして、計画はあくまで計画だということになしに、やはり基本計画、そしてその裏づけになる財政計画、そしてそれを実施計画と、そういうふうな論法といえますか、順番があると私は思っております。

そして、いつも議会から、あるいはまた、決算のときには監査委員のほうから「健全財政堅持」という言葉をよく耳にされると思います。私もそのように言っています。それが基本であります。そして、民間と違うところは、堅実にやるということ、そして住民の生命、財産を預かっておるんだという使命があるわけでありますので、そういった視点からいろんな施策を盛り込んでいくというのは自然なことだと思います。

そのためには、先ほども述べましたように、議員の皆さんとよく相談し、あるいは議論を深めて、よりよい地域づくり・村づくりをしていくというのが基本姿勢だと思います。

そういった意味で、否定はしませんけど、そういったこともあるということもご理解いただきたいということを申し上げまして、私の再質問に対する答弁にさせていただきます。

ます。

よろしく願いいたします。

議長（前原英石君） 森 弘秋君。

1 番（森 弘秋君） 私、地権者を無視なんて言っておりません。当然、固有の財産ですから、そういったものを全く無視してまでやれとは言っておりませんので、そこだけ。答弁は別に結構ですので、そこは私のほうから訂正といいますか、誤解のないようお願いいたします。

以上です。